

平成24年

3月号

[567号]



広報

かねやま



会場で元気に遊ぶ子どもたち
(第34回会津かねやま雪まつり・記事4・5ページ)



災害に備える

東日本大震災から1年が経とうとしています。町も昨年7月に福島・新潟豪雨災害に見舞われ、大きな災害の怖さを経験しました。災害から身を守るにはいざという時のために、日頃から災害に備えると共に、心構えを身に付けておきましょう。



平成16年10月新潟中越地震による被害（水沼）
（撮影日：平成16年10月24日）

地震に備えて

家の中や街で地震にあった時は、あわてず落ち着いて身の安全を守りましょう。その場に應じた行動を日頃から心得ておくことが大切です。

家の中にいるとき

- 丈夫な机やテーブルの下にもぐるなど、身の安全を守りましょう。
- すぐ消せる場合は、ガス器具やストーブの火をすばやく消しましょう。
- 玄関や窓を開けて、いつでも逃げられるように出

緊急地震速報とは？

- 地震の発生直後に、震源近くで地震をキャッチし、地震による強い揺れが始まる数秒〜数十秒前に、素早く震源地や地震が起さる地域をお知らせする情報です。ただし、震源に近い場所では、緊急地震速報が強い揺れに間に合わないことがあります。
- 震度5弱以上が想定される場合に、テレビ・ラジオ・携帯電話等を通じて速報が受けられます。速



報を見聞きしてから強い揺れがくるまでの時間は数秒〜数十秒しかありません。まわりの人にも声を掛けながら、慌てずに身の安全を守りましょう。

外出しているとき

- 窓ガラスや看板などの落下物に注意して、バックなどで頭を守り、安全なところに避難しましょう。
- ブロック塀や自動販売機などの倒れそうなもの、垂れ下がった電線には近づかないようにしましょう。
- 口を確保しましょう。
- 2階にいるときは、あわてて階段をかけおいたりしないようにしましょう。
- 割れたガラスや食器などによるけがに気をつけましょう。

風水害に備えて

風水害は、集中豪雨、台風などの原因により発生します。豪雨、台風、洪水などは、突然やってくるわけではありませんので、直前の準備や備えが災害の防止に役立ちます。

避難情報

集中豪雨や台風などにより、災害が発生する恐れが高まったとき、町では防災無線で避難についての情報をお知らせします。ラジオやテレビなどの防災気象情報だけでなく、町から発信

される避難についての情報に注意し行動しましょう。

日常の備え

○自分の住む地域の土石流やがけ崩れが起きやすい箇所を確認しておきましょう。災害の種類によっては危険箇所が異なる場合があります。

○災害の時に、どのように避難したらよいか、家庭内や近所同士であらかじめ話し合い確認しておきましょう。

○避難する時の荷物は必要最小限とし、事前に準備しておきましょう

避難時には

○ラジオ・テレビ、町の防災無線により最新の気象情報、災害情報に注意しましょう。

○危険が迫ったときは役場や消防団等から避難の呼びかけをすることがあります。呼びかけがあった場合は、速やかに避難してください。

○お年寄りや子供、病気の人は、早めの避難が必要です。近所のお年寄りや子供、病気の人などの避難に協力しましょう。

○側溝や水路に転落しないよう注意しましょう。河川沿いの道路を通行する際は増水に十分注意し、山沿いの道路を通らなければならぬ場合には、土砂災害に注意するなど状況を確認し、安全な避難に努めましょう。

町では、警報が発表された時は、職員が役場に待機しています。豪雨などによる被害を確認した時は、次のところまでご連絡下さい。

◎連絡先…総務係

☎54—5 2 1 5

【避難する時の目安】

行政がとる行動	事象・状況	住民の皆さんがとる行動
災害情報等の収集・確認や警戒巡視を行います。また、防災無線放送などを通して、住民の皆さんに注意を呼びかけます。	大雨・洪水警報の発令など	町の防災無線放送やテレビ等で今後の気象情報、災害情報、避難情報に注意しましょう。雨の降り方や浸水の状況に注意し、危険を感じたら自主的に避難しましょう。避難する前に、親戚や知人に連絡するのを忘れずに。
災害警戒体制に入り、町職員や消防団員が警戒にあたり、必要に応じて避難を促したり、避難場所の開設を行ったりします。	災害危険の増加 (雨がさらに強まる・河川の増水・道路の冠水など)	いつでも避難できるように避難の準備をして、町や消防団等からの呼びかけに注意しましょう。また、危険を感じたら自主的に避難しましょう。
災害対策本部を設置して避難勧告を発令し、住民の皆さんに避難を呼びかけます。また、町職員や消防団員が避難誘導や安否の確認にあたります。	災害危険大 (避難勧告)	最寄りの避難場所、または安全な場所に速やかに避難しましょう。
避難指示を発令し、応急活動を実施します。	災害危険切迫 (避難指示)	最寄りの避難場所、または安全な場所に直ちに避難しましょう。

災害に備え、水門の点検をする消防団と地区の皆さん(板下)



ミニ雪像作りコンテストに参加する子どもたち



町の元気をアピール！



にぎわいを見せる「味じまん大会」

「第34回会津かねやま雪まつり」が、2月19日、中川の町民グラウンドを中心に行われました。昨年の新潟・福島豪雨災害から7カ月、町内外からたくさんの方々が来場者を迎え、町の元気をアピールする場となりました。



トで会場は大きな笑いに包まれました。

また、場内には金山中学校や川口高校の生徒たちなどが作った雪像が並びました。

私の言いたいこと発表会

金山町青少年健全育成町民会議が主催したもので、小学生から高校生14名の児童や生徒が、自分の体験や将来の夢などについて発表しました。

会場では、約150名の聴衆が、発表を熱心に聞いていました。

書き初め展

町内の小中学生による105点の力作が展示されました。

老人作品展

町老人クラブ連合会が主催したもので、丁寧に仕上げられたマタタビ細工などの工芸品が展示販売されました。

川口高校授業成果展示

川口高校で行われている奥会津風土体験プログラムの授業成果が展示されました。



水消火器を使った的当てゲームに臨む親子



関係者による鏡開き



今年の雪まつりも笑顔があふれます



ジャグリングショーを楽しむ皆さん



渡部傳吉さん(水沼)の作品
「起き上がり小坊師」



横田地区青少年健全育成会
作成のキリーフ



金山中学校の生徒が作成した
「頑張龍」
がんばりゅう



川口高校生の作品
「起き上がり小坊師」



自分の思いを発表した児童生徒の皆さん



たくさんの民芸品が並んだ老人作品展

力作ぞろいの雪像達

先人の技を学ぶ ほうきづくり教室



一本一本丁寧に つむいでいくほうきづくり

話題の 散歩道

2月5日、横田公民館でほうき草を使用した「ほうきづくり教室」が行われ、参加者5名は手作りの技を学びました。

参加者の中にはほうきづくりが初めてという方もいる様子で、ほうき草をひとつひとつ丁寧に織り込んでいく作業に四苦八苦しながらも、指導者の教えを請いながらなんとか作り上げていきました。参加者は「ほうきを作るのは大変な作業でしたが、出来上がった物はコンパクトで使いやすい。忘れないうちにまた作ってみたい」と話しました。

年中行事「^{ひゃくまんべん}百万遍」で 無病息災を願う

百万遍とは、大型の数珠をまわしながら念仏を唱えることを言います。今日でも日本各地の寺院や地域において、鎮魂、豊穰、除災などを目的として百万遍念仏が行われています。

集会所の前で念仏を唱える子供達（大志）



無病息災を願って（板下）

町内でも、2月8日に大志地区、板下地区では数珠をもって「なんまいだ、なんまいだ」と唱える「百万遍」が行われました。大志地区では雪が降る中、小・中学生が地区を巡り無病息災を願いました。板下地区でも有志の方々が大きな数珠を持って各家庭を巡りました。



子どもたちと談笑するマルコ氏

元ワールドカップレーサー来たる かねやまスキー場で子供たちと交流

2月25日、26日にフェアリーランドかねやまスキー場では元ワールドカップレーサーのマルコ・ビュッヘル氏が訪れ、この日の大会を終えた子どもたちと交流しました。



模範滑走をするマルコ氏

マルコ氏の熱血指導に参加した子どもたちは大喜びでした。子どもたちからは「この経験を忘れずに将来、必ずオリンピックに出たい」という声も聞かれました。

栗城ミネさん百歳賀寿贈呈式



2月28日に満100歳になられた栗城ミネさん(写真右)

2月29日、町役場内にて栗城ミネさん(玉梨)の百歳賀寿贈呈式が行われました。ミネさんは冬期間は町を離れ東京に住む次女の家身を寄せているため、代理として長女である角田ノブ子さん(玉梨)が賀寿等を受け取りました。



角田さんによるとミネさんは肉、魚を食べず野菜が大好きで、それが長寿の秘けつだと語っておられたそうです。

賀寿を受ける長女の角田ノブ子さん

思い出を胸に

32名が川口高校を卒業

第60回川口高等学校卒業証書授与式が3月1日に開かれました。式では、卒業生を代表して舟木健人さんほんまただゆきに卒業証書が手渡され、本馬忠幸校長が「皆さんはお父さん、お母さん、先生、友だちに支えられて3年間の学校生活を送ることができたのです。感謝の気持ちを忘れず、社会に貢献できる人物になってください」と式辞をのべました。

来賓祝辞、在校生代表送辞に続いて星和香さん(川口)が「私たちは川口高校で培った友情をこれからも大切にし、自分自身に責任を持てる人生を歩みます」と力強く答辞を述べ、三年間の高校生活に別れを告げました。



卒業証書を授与される舟木さん



積極的な意見交換をする参加者

活発な意見を交わす 新潟・福島豪雨災害情報交換会

3月1日、「平成23年新潟・福島豪雨災害に関する情報交換会」が役場内で行われ、町、区長協議会、農業委員会、只見川ダム災害金山町被災者の会、町議会の代表者が集いました。独自に交渉を行ってきた各団体が一堂に介して話し合うのは今回が初めてとなります。

会では、町が国や県などに対して行ってきた要望内容や各団体が独自に行ってきた活動が報告され、積極的な意見が交わされました。

町長は「被災者の立場を尊重しつつ、各団体の意見を聞いて総合的に判断してやっていきたい」と話しました。

お知らせ

今月の納税

●水道使用料
●保育料

3月分
3月分

納期限は
3月30日です

納め忘れに
ご注意ください

人事

新消防団長に目黒氏
が就任



辞令を受け取る目黒さん

平成22年4月から金山町消防団長を務められた五ノ井和彦さん（高倉）が2月20日に亡くなりました。故人のご冥福を心よりお祈りいたします。後任として目黒政一さん（大塩）が2月21日付けで団長に任命されました。

募集

地域づくり総合支援事業

会津地方振興局では、福島県地域づくり総合支援事業を募集しています。

これは、地域の特性を活かした魅力ある地域づくりの推進を目的としています。

▼補助対象事業

・ハード事業
生活環境や施設の整備
・ソフト事業
人材育成や地域間交流

▼補助率

対象事業の4分の3以内

▼募集期間

5月9日（水）まで

◎問い合わせ：政策財政係

☎54―5222

案内

小中学生の医療費を
助成します

町では、小中学生の医療費についての補助事業（子育て応援医療費事業）を行っ

ています。

申請により、医療機関に支払った自己負担分を補助するというものです。

病院等にかかったときは、お早めに住民課窓口で申請を行ってください。

◎問い合わせ：保健医療係

☎54―5135

さすけねえよ

かねやま

町の皆さんに心の休養を、とラジオ福島「かつとびワイド」でおなじみの鏡田辰也アナウンサーとハッピーチェさんにトークショーを開催します。みんなで笑って楽しい時間をすごしましょう。

▼日時

3月17日（土）

午後1時30分～3時

▼場所

ゆうゆう館

▼参加料

無料

◎問い合わせ：保健医療係

☎54―5135

「ご寄付に感謝」

「長谷川源佐
うたい文庫」寄贈

故・長谷川源佐さん（宮崎）が生涯をかけて研さんと普及につとめてきた謡曲に関する文献を奥様の長谷川ヒデ子さんが町に寄贈されました。寄贈されたものには家元が異なる謡曲を初めて編さんした「宝生正本（大正版）五番綴」など貴重な文献が多数含まれます。これらは町の文化活動の一層の向上に活用させていただきます。



書籍と目録を渡すヒデ子さん（中央）と長男の浩一郎さん（左）

これから予定

★3月★

▼21日（水）

・運転免許更新

午前9時～開発センター

▼23日（金）

・小学校卒業証書授与式

午前9時30分～金山小

午前9時30分～横田小

▼26日（月）

・修了お祝いの会

午前9時～川口保育所

午前11時～横田保育所

▼28日（水）

・膝・腰予防教室

午後9時30分～

ゆうゆう館

★4月★

▼3日（火）

・入所おめでとうの会

午前9時～横田保育所

午前10時～川口保育所

▼6日（金）

・小学校入学式

午前9時～

金山小・横田小

・中学校入学式

午前11時～金山中

▼9日（月）

・川口高校入学式

午後1時～川口高校

▼12日（木）

・行政相談
午前10時～金山町役場

町内各地区の放射線量

町が独自に行っている、各地区の空間放射線量についてお知らせします。

測定地点：各地区集会所

(単位：マイクロシーベルト／時間 地上1mの高さで測定)

測定日 地区名	12月 14日	1月 17日	2月 17日	測定日 地区名	12月 14日	1月 17日	2月 17日
川口	0.098	0.054	0.060	大栗山	0.082	0.054	0.050
小栗山	0.112	0.050	0.072	福沢	0.116	0.070	0.070
八町	0.132	0.058	0.048	三更	0.132	0.056	0.062
玉梨	0.150	0.066	0.070	沼沢	0.160	0.072	0.058
西谷	0.126	0.068	0.058	太郎布	0.088	0.038	0.054
本名	0.144	0.066	0.072	横田	0.108	0.080	0.084
橋立	0.142	0.050	0.032	上横田	0.106	0.050	0.054
大志	0.118	0.074	0.070	土倉	0.080	0.048	0.052
板下	0.096	0.030	0.032	西部	0.096	0.056	0.060
宮崎	0.096	0.054	0.060	大塩	0.088	0.068	0.058
上田	0.092	0.040	0.046	滝沢	0.088	0.056	0.048
水沼	0.154	0.062	0.052	田沢	0.076	0.046	0.044
上大牧	0.116	0.044	0.044	山入1	0.116	0.066	0.064
下大牧	0.110	0.056	0.066	山入2	0.110	0.076	0.052
高倉	0.116	0.042	0.056	越川	0.092	0.062	0.052

原子力損害にかかる「個別相談会」開催について

福島第一原発事故による法人及び個人事業主が被った風評被害等による損害に対する賠償の仕組みや具体的な手続きについての「個別相談会」を継続して開催します。

○日程

受付時間は、全日程とも10時～16時です。(予約不要)

日 程	場 所
3月13日(火)	横田出張所 1階 和 室
3月27日(火)	開発センター 2階 研修室

◎問い合わせ…東京電力(株) 福島補償相談室

☎0120-926-404 (通話料無料)

豪雨災害義援金の協力を 感謝申し上げます

～義援金(2月29日現在)～

総額 113,782,893円

被災された方々へ次の団体や個人の皆様から義援金をいただきました。

(2月29日までに新たに義援金を寄せていただいた方々・敬称略)

- ・川口地区文化祭実行委員会
- ・金山町雪まつり実行委員会
- ・長谷川慶一郎・恵子

リアルタイム線量測定システム・ モニタリングポストの設置

文部科学省では、空間放射線量を測定する、リアルタイム線量測定システム及びモニタリングポストを県内各地に設置しています。町内では、次の各地点に設置されています。

○リアルタイム線量測定システム
(10ヵ所)

川口保育所・横田保育所・金山小学校・横田小学校・金山中学校
川口高校・町民体育館・芸能伝承館・沼沢公民館(水沼)・沼沢集会所

○モニタリングポスト(3ヵ所)

役場・自然教育村会館・大塩体育館

※リアルタイム線量測定システムは10年程度、モニタリングポストは数十年程度設置予定です。なお、リアルタイム線量測定システムで計測された放射線量は、現在文部科学省の下記ホームページで閲覧できます。

<http://radiomap.mext.go.jp/ja/>

◎問い合わせ…総務係

☎54-5215

3
月 31 日

アナログテレビ放送

終了 しま す !!



☆地上デジタル放送の準備はお済みですか?☆

地上デジタル放送を見るためには、地上デジタル対応テレビを用意するか、今お使いのアナログテレビに外付けの地上デジタル対応チューナーなどを設置する必要があります。

◎ご相談・問い合わせ…地デジ相談室 ☎54-5222

◆地上デジタル放送受信のための支援について◆

総務省では、経済的な理由で地上デジタル放送がまだ視聴出来ない方に地上デジタル対応チューナー(一台)の無償給付などを実施しています。

[対象者] ①NHK放送受信料全額免除世帯(東日本大震災などの被災世帯を含む)

②町民税非課税世帯の方

[申込期限] 平成24年3月31日まで

[連絡先] 地デジチューナー支援実施センター ①☎0570-033840 ②☎0570-023724

薪を燃やした後の灰の取扱いにご注意ください

福島県内では薪ストーブを使用した際に発生する灰から指定廃棄物（8,000ベクレル/kgを超える廃棄物）の基準値を上回る43,780ベクレル/kgの放射性セシウムが検出される事例が発生しました。薪を燃やした後の灰には最大で薪の182倍の放射性セシウムを含む試験結果が報告されておりますので、灰の取扱いにつきましては、下記注意事項についてご留意下さい。

なお、国からの指示により、わらび、こんにゃく、とち餅等、灰を食品に使用することについては、自粛していただきますようお願いいたします。ただし、平成23年3月11日以前に生産された薪で、シートをかける等風雨にあてない状態で保管された薪からの灰は使用可能です。

注 意 事 項

- ・薪ストーブ等の掃除にあたっては、灰を吸い込まないようにマスクをするとともにゴム手袋を着用してください。
- ・薪を燃やした後に発生した灰については、庭や畑にまいたりせず、燃やせるごみとして処理して下さい。
- ・灰が収集されるまでの間、周囲への飛散や雨などによる流出を防止するため、ビニール袋等に入れ、家の裏等人の近寄らない場所に保管してください。
- ・自宅の薪の放射性物質を測定したい場合には、福島県会津農林事務所 森林林業部林業課にご相談下さい。
- ・排煙による被ばくについては、煙に含まれる放射性セシウム濃度が低いため、影響はありません。
- ・町ではご家庭の焼却灰の測定をすることができます。測定の際は事前に予約が必要です。で、保健医療係までご連絡ください。



収集される間、灰はビニール袋等に入れ保管してください

灰に関する問い合わせ

福島県会津地方振興局 県民環境部環境課

☎0242-29-3908

金山町役場 保健医療係

☎54-5135

薪に関するお問い合わせ

福島県会津農林事務所 森林林業部林業課

☎0242-24-5734

金山町役場 農林振興係

☎54-5321

生産者の方へ

加工食品を販売する場合は必ず事前検査をしてください

漬け物などの加工食品を直売所などに出荷される方は、放射性セシウムの検査を行い、食品衛生法上の規制値を上回っていないか確認のうえ出荷してください。なお、4月からの規制値は現在の500ベクレルから100ベクレルに変更になりますので、ご注意ください。

【出荷前の検査が必要な食品】

- ・野菜、果実等の粉末
- ・漬け物類
- ・凍み餅
- ・わら納豆
- ・笹巻き
- ・その他これらに類する食品

◎問い合わせ:

販売される方

☎0242(39)2974

自家消費される方

保健医療係

☎54-5135

平成24年度

水質検査計画を策定

町はみなさんに安全で安心な水道水を利用していただくために、毎年水質検査計画を策定し、水質基準に適合する水道水を供給するための定期的な水質検査を行っています。

水質検査計画とは

これは、水道法施行規則に基づいて水質検査を行う場所・検査項目・検査回数などを定めるものです。

検査は毎日・毎月など定期的な検査と水道水の安全が確保できない恐れがある場合に行う臨時の検査があります。

皆さんのご意見をお待ちしています

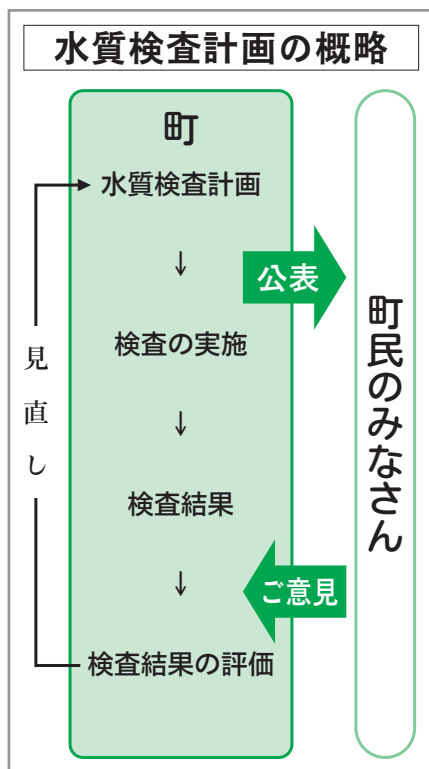
水質検査計画の詳細や検査結果は公表していますので、上下水道係までお問い合わせください。

なお、水道水において現在まで異常な水質結果は出ていません。

みなさんからのご意見を今後の水質検査計画の参考にさせていただきますので、貴重なご意見をお待ちしています。

◎問い合わせ：上下水道係

☎ 54-5315



水は貴重な資源です。「栃の木清水(土倉)」

長期不在の場合はご連絡を

現在、下水道使用料は基本料金と町に住民登録している世帯人数(毎月1日現在)で算出しています。

町では、住民登録したまま町外に長期滞在される方を対象に下水道使用料を1人につき525円減免しています。

ご家族内に住民登録をしたまま就学や入院、老人ホームへの入所などで町外に在住している方がいらっしゃる場合は、減免の対象になりますのでお早めにお届けください。

◎問い合わせ：上下水道係
☎ 54-5315

飲料水放射性物質モニタリング検査結果

- 食品における放射性物質の基準改定にともない平成24年4月1日から検査基準値が下記の値に変更される予定です。

200 Bq/kg → 10 Bq/kg

- 平成24年2月6日から検査頻度が下記のとおりになりました。

水道事業者名	該当地区	検査頻度
簡易水道	川口・小栗山・八町・玉梨・西谷・本名・大志・板下・宮崎・上田・福沢・沼沢・横田・上横田・大塩・滝沢・山入1・山入2・越川	1週間に1回 ↓ 2週間に1回 (今後も継続)
飲料水供給施設	橋立・湯倉・上大牧・下大牧・大栗山・太郎布・土倉・西部	現在までに1回 ↓ 1ヶ月に1回 (今後も継続)

※上記地区であっても、町の水道を利用していない世帯は対象外です。

◎金山町では現在までに放射性物質(放射性ヨウ素、放射性セシウム)は検出されていません。
(平成24年2月10日現在)

◎問い合わせ…上下水道係 ☎ 54-5315

緑のふるさと協力隊が見つけた “支えあいの心” 最終回

1年間の感謝を込めて

緑のふるさと協力隊として1年間活動してきた河原崎知尋さんと高山陽太郎さんの活動報告会が3月2日、開発センターで開かれ、関わりがあった方など約40名が報告を聞きました。河原崎さんと高山さんは活動の思い出や町の魅力、課題を語り出席者からたくさんの拍手を頂きました。



太鼓の演奏も披露しました

お世話になった方へ

河原崎知尋

緑のふるさと協力隊として金山町に来て早1年が過ぎようとしています。昨年は東日本大震災が発生し、福島原発事故が終息していない状況から活動がスタートしました。そして7月29日の新潟・福島豪雨災害。私にとっても未だかつて経験したことのない大変な年でした。

しかし、この大変な状況の中で分かったことがひとつあります。それは都会にはない「人との結びつきの強さ」です。集落内の近所付き合いはまるで家族同然のように固い絆で結ばれていました。

思い返すと、私はこの1

年がむしやうに走ってきました。毎日の自分の活動のことで頭がいっぱいだったのでしよう。そんな中でも近所の方が調子はどうだと気に掛けてくださったり、家に招待してくださったりと家族のように心配してくれていたことに気が付いていませんでした。

4月からは、大学院に戻ってもう少し専門的な研究をしたいと考えています。活動先でお世話になった人や近所の上横田の人々、応援して頂いた役場職員の方々、そして金山町で出会った皆さんに感謝します。本当にありがとうございます。そして今年こそ良い年になることを願っています。

みなさんに支えられた1年

高山陽太郎

私が金山町に来て、1年が過ぎようとしています。来たばかりの時は「1年あれば何でもできる」と意気込んでいましたが、自分が思った以上に時の流れは速く、緑のふるさと協力隊としての活動が終わる日まであとわずかとなりました。思い返せば、この1年間で様々なことがありました。楽しい事、うれしい事だけでなく、辛い事、悲しい事もあり、自分の活動が果たして町の為になっているのかと悩んだ時期もありました。それでもこの活動を続けられたのは、町の方々の



山入集落の皆さんとのそばふち体験

あたたかい支えがあったからだと思います。昼食や夕食に呼んでいただいたり、活動が終わるたびに「また来てくれ」と声を掛けていただいたり、飲み会に誘っていただいたり……。それらが明日の活動への原動力となり、とても助けられたと思います。

将来の進路はまだ明確にはなっていませんが、4月からは金山町民として町に住みたいと考えています。どこかで出会う事があれば、声をお掛け下さい。協力隊としては大変短い期間でしたが、とても有意義な1年でした。



消防の日に参加した消防団の皆さんと

☆新しい本が入りました☆

一般向け 老年の流儀 老いてこそ夫婦の絆
三浦朱門 著（海竜社）

夫婦は老年を迎え弱さを共有することで真価を発揮する。これこそが人間が高級な生物の証である。ユーモアたっぷり待望の書き下ろしです。（目次 男は体力、女は器用さ。こんなに違う？男の実力、女の才覚？）

一般向け 銀二貫
高田郁 著（幻冬社）

大阪天満の寒天問屋、井川屋の和助は、仇討ちで父を亡くした鶴之輔を銀二貫で救う。大火で消失した天満宮再建のために、工面した大金だった。引きとられた少年は松吉と改め、商人としての厳しい躰と生活に耐えていく。

児童向け もりのおべんとう屋さん
舟崎靖子 著（偕成社）

なぞなぞのすきなスカンクさんが、お弁当屋さんをはじめました。ある日、「夜中の12時にお弁当をとりにいきます。」というなぞの注文が来ました。さて、真夜中にくるなんてだれかな。

◆図書館の利用状況（2月分）
月刊貸出冊数 81冊
（うち児童書 21冊）

県立図書館の本を紹介します。

- これからの老老介護にそなえるための心得40／松本一生 著（河出書房新社）
- 放射能汚染 ほんとうの影響を考える／浦島充佳 著（創栄図書印刷株式会社）
- いとはん和ごころ入門／徳光正子監修（マイコミ）

～お一人様3冊まで、貸出期間は2週間です。土曜日にも利用できます～

◎問い合わせ 中央公民館
☎ 54-5360

あの人この人

2月届出（敬称略）

こんにちは赤ちゃん

今月は該当がありませんでした

お二人で幸せに

今月は該当がありませんでした

霊よ安らかに

菅 家 平	(91歳)	滝 沢
滝 沢 正 昭	(74歳)	山入二
加 藤 カツエ	(92歳)	大栗山
菅 家 ト リ	(90歳)	大 塩
三 瓶 義 矩	(85歳)	板 下
五ノ井 和 彦	(72歳)	高 倉
長谷川 ス イ	(96歳)	西 谷
藤 家 イチノ	(93歳)	横 田

※このコーナーに掲載を希望されない方は、届け出時に申し出て下さい。

金山町の人口（3月1日現在）

世 帯 数	1,121世帯（－7）
人 口	2,488人（－11）
男	1,182人（－5）
女	1,306人（－6）

※（ ）内は先月比 住民基本台帳から

東日本大震災、只見川豪雨災害復興記念イベント

浮き球△野球 奥会津地吹雪大会

作家の椎名誠さんが全国に広めた「浮き球△野球」は発泡スチロールの様な「浮き球」を使って遊ぶ野球です。今回はそれを雪上で楽しみます。子供から、女性、お年寄りまで、誰でも気軽に遊べますのでご家族そろってご参加ください。

○開 催 日：平成24年3月31日（土）～4月1日（日）

○実施会場：フェアリーランドかねやまスキー場

○実施時間：3月31日（土）

13：00 開会式・説明・チーム編成

13：30～16：00 ゲーム

4月1日（日）

9：00～12：00 ゲーム

○申込方法：チーム参加及び個人参加共、あらかじめ事務局に申し込んでください。

○参 加 費：2,000円（小学生まで1,000円）

○主 催：奥会津オロチ団・金山町中央公民館

◎問い合わせ・申込先

・金山町中央公民館 ☎54-5333

・奥会津オロチ団事務局 星 賢孝

メール okuaizu@sam.hi-ho.ne.jp

☎52-3111

地域で支えあい

上横田除雪支援会

上横田地区では有志の方々が5年前に上横田除雪支援会を設立し、金山町社会福祉協議会の小地域生活支援ネットワーク事業の助成金を受けながらひとり暮らし世帯を中心に除雪活動を行っています。今回は会のメンバーである栗城元一さん（上横田）にその活動について話を伺いました。

支援会を立ち上げた理由

「ひとり暮らしの世帯が増えてきて、地区で除雪をやってもらえないかという要望が多く聞かれるようになっていました。社会福祉協議会から除雪活動に対して助成金を受けられるという

上横田除雪支援会の皆さん

話があったので、それを運営資金として会を立ち上げることにしたのです。現在の会のメンバーは9人です」と栗城さんは除雪支援会について話しました。

除雪活動の様子

「秋のうちに除雪が必要な方の申込みを受け付けますが、今年度は20件の申込みがありました。除雪は原則2人体制でロー



主にひとり暮らし世帯の除雪作業をしています

ションを組んで行っています。作業時間は1件当たり約2時間かかるので1日に3件が限度です。3月になると雪は少なくなりますが、畑に入るための通路の除雪などを行い、3月末まで活動します」と会の活発な活動について話しました。

利用者の反応

「ひとり暮らしの方からは、この仕組みがないと冬場はここに居られないから助かるという感謝の言葉をいただいています。遠くにいらっしゃるご家族からも大変感謝されています。私は64歳ですがあと10年は除雪活動をしたいと思っています。町では74歳でもまだまだ若手に入りますから」と栗城さんは充実した笑顔を見せました。



生涯学習のマスコット マナビィくん

眼下に広がる大パノラマを堪能

「スノーシューハイキング参加者募集！」

大自然の中、春の息吹を感じながら、ゆったりとハイキングを楽しみませんか？スノーシューは「西洋かんじき」と呼ばれ、長さ50センチほどのミニスキーのような形状で、かかとが固定されていない分、「和かんじき」よりも斜面を歩くのに適しています。

今年、太郎布高原から出発する歩きやすいコースです。一番の見所は、尻吹峠から見下ろす只見川と中川の集落。バックの越後山脈と空とのコントラストも見事なものです。

子どもから大人まで、スノーシューのない方でもお気軽に参加することができ、ますので次のとおりお申込みください。

【開催日時及び集合場所】平成24年3月18日（日）午前9時 役場前集合
※正午頃解散の予定です
【行程】太郎布高原～尻吹峠～川口上野～役場
【参加料】 無料
【定員】 30名
【申込み】 15日（木）まで
金山町中央公民館
（☎54-5361）



生涯学習

だより

174